

令和元年10月八戸市教育委員会定例会会議録

開催日時 令和元年10月30日(水) 午後3時

場 所 市庁本館3階 議会第1委員会室

出席者	教育長	伊藤	博章
	教育委員	武輪	節子
	教育委員	大庭	文武
	教育委員	築瀬	眞知雄
	教育委員	油川	育子

事務局出席職員	教育部長	石亀	純悦
	教育部次長兼教育総務課長	橋本	淳一
	教育部次長	小笠原	徹
	博物館長	古里	淳
	学校教育課長	中村	雅臣
	教育指導課長	西山	康巳
	社会教育課長	館合	裕之
	是川縄文館副館長	小保内	裕之
	総合教育センター所長	竹花	和人
	こども支援センター所長	大坂	吉弘
	図書館長	田茂	隆一
	教育総務課参事	尾崎	紀子
	西地区給食センター所長	川口	晃司

開 会

(伊藤教育長)

定刻となりましたので、令和元年10月教育委員会定例会を開会します。

本日の議事録署名は、油川委員を指定します。

それでは、はじめに私から、主な会議・行事等について説明いたします。

主な会議・行事等

(伊藤教育長 資料に基づき説明)

(伊藤教育長)

ただいまの説明につきまして、ご質問などありましたらお願いします。

[質疑なし]

これより議事に入ります。本日提出されております議案を審議いたします。

はじめに、議案第47号「八戸市立学校設置条例の一部を改正する条例の制定について」事務局からの説明をお願いします。

議案第47号 八戸市立学校設置条例の一部を改正する条例の制定について

(中村学校教育課長 資料に基づき説明)

(伊藤教育長)

ただいまの説明につきまして、ご意見・ご質問などがありましたらお願いいたします。

[質疑なし]

それでは、議案第47号を原案のとおり決定してよろしいでしょうか。

[異議なし]

ご異議がありませんので、議案第47号を原案のとおり決定いたします。

次に、議案第48号「八戸市基金の設置及び管理に関する条例の一部を改正する条例の制定について」事務局からの説明をお願いします。

議案第48号 八戸市基金の設置及び管理に関する条例の一部を改正する条例の制定について

(古里博物館長 資料に基づき説明)

(伊藤教育長)

ただいまの説明につきまして、ご意見・ご質問などがありましたらお願いいたします。

[質疑なし]

(伊藤教育長)

それでは、議案第48号を原案のとおり決定してよろしいでしょうか。

〔異議なし〕

ご異議がありませんので、議案第48号を原案のとおり決定いたします。

次に、議案第49号「教育に関する事務の管理及び執行の状況の点検及び評価報告書について」事務局からの説明をお願いします。

議案第49号 教育に関する事務の管理及び執行の状況の点検及び評価報告書について

(橋本次長兼教育総務課長 資料に基づき説明)

(伊藤教育長)

ただいまの説明につきまして、ご意見・ご質問などがありましたらお願いいたします。

(築瀬委員)

学識経験者からの総評に関連して少し感想を述べたいと思います。評価報告書の45ページから46ページに総評が載っているのですが、学識経験者の上條秀信さんの総評の中で「各担当課・各担当者の日々の誠実な努力に対して、感謝し敬意を表したい思いでいっぱいである。」との気持ちが書かれており、私も同じ思いであります。本当にお疲れ様でした。また、末尾では「真に子どもたち・住民たちのよりよい生活に資するものになることを心から願っている。」ともあり、この点検評価報告書が、子どもたち、そして市民のよりよい幸せ実現のための教育施策に反映されてほしいと、私も切に願っているところです。

前田稔さんからは、総評の中に「地域密着型教育の充実」、「小・中学校ジョイントスクール推進事業」、「さわやか八戸グッジョブ・ウィーク事業」、さらに「幼稚園・保育所(園)・認定こども園と小学校との連携推進事業」や「読書教育の推進」ということが書かれてあり、これらを「八戸市の誇れる事業である」とおっしゃっております。全国的な教育施策の流れについては、いつも話題になりますが、そういう流れに惑わされない基本理念をもとに、八戸市独自の施策に自信を持ち、今後も展開して行ってほしいと思っています。

最後になりますが、平間恵美さんは最後の段落で「新たな時代に向けて」と書かれ、未来を見据えた教育について総評を述べられています。ここに書いているように「主体性を持って学び、考え、自ら行動すること」を強調されておりますけれども、やはり、今回の点検評価報告書がこれからの社会を生きる力の育成に向けて、どう生かされるのかということが非常に重要であると思っております。評価のための評価になるのではなく、更なる発展・充実のための重要な指標になることを望んでおります。

いつも繰り返して話しているのですが、教育に関しては、数値の結果や目先の成果だけを追い求めることは危険ではないかと思うので、これからも八戸市が数値目標や結果だけにとらわれない視点を持ち続けてほしいと思っています。

(伊藤教育長)

ありがとうございます。その他ありませんか。

(武輪委員)

まずは報告書作成、大変お疲れ様でございました。各事業の内容について評価を行い、それぞれの成果を得ることができました。学識経験者の方から認めていただき、納得していただいた点、また、良い評価の方法に改善され、報告書のまとめ方、表記の仕方についても分かりやすく、読みやすくなったと高く評価していただいたことを、私も大変嬉しく思います。そして、ねぎらいの温かい言葉をいただきました。市民の皆様がこの報告書に目を通していただいて、事業内容を理解していただくとともに、教育委員会としてさらに期待に応えられるよう努めていかなければと感じました。

(伊藤教育長)

ありがとうございました。その他ありませんか。

(大庭委員)

お二人の委員の方と重なりますが、学識経験者3名の方の総評の中で、今回の報告書は大・中・小施策に基づいて、各事業内容が分かりやすい構成、分かりやすい評価方法に改善されたと肯定的に評価いただいていることを嬉しく思います。私個人としても、今回の報告書は、評価の全体及び各事業における評価が簡潔で分かりやすくなったと思っております。各事業の評価については、32項目のすべてが「想定以上の効果・成果が得られた」、あるいは「概ね想定どおりの効果・成果が得られた。」ということであり、これは担当部署の方々が、それぞれの事業に真摯に取り組んでこられた結果であろうと思います。今後もいろいろ変化し、厳しい社会になっていくことが予想されますが、その社会環境の中で、子どもたちの生きる力を育てるための取組を継続してお願いしたいと思います。各事業に取り組んでこられた方々、そしてこの報告書を取りまとめてくださった皆さんに感謝いたします。

(伊藤教育長)

ありがとうございます。その他ございませんか。

(油川委員)

今までお話くださった3名の委員の皆様と全く同じ考えです。1年間おやりいただいたことが、このような報告書として見える形となりましたことは、市民の皆さんに理解していただけるとてもいいチャンスかと思いました。これまでにたくさんの時間を要したことと思います。ありがとうございました。そして今後ともどうぞよろしく願いいたします。

(伊藤教育長)

ありがとうございます。以上でよろしいですか。

[質疑なし]

それでは、議案第49号を原案のとおり決定してよろしいでしょうか。

〔異議なし〕

ご異議がありませんので、議案第49号を原案のとおり決定いたします。

以上で、議案の審議は終わりました。

次に報告事項にまいります。始めに「令和元年度第2四半期の業務報告について」は、事前に質問をいただいております。

【令和元年度第2四半期の業務報告について】

(伊藤教育長)

まずは3ページの「八戸市奨学金」について、武輪委員からお願いいたします。

(武輪委員)

「八戸市奨学金」に関しては、前回の第1四半期の業務報告の際にも、募集人数について質問させていただきました。3ページの資料を拝見し、ありがたく感じたことをお話ししたいと思います。奨学金の選考に関しては、第一次選考、第二次選考とあるわけですが、その第二次選考受験者に対しまして、丁寧に対応いただいていることが伺えました。表の下部のアスタリスク（※）にも記載されていますが、一般奨学金に採用にならなかった方でも、第二種特別奨学金に合格されていたりと、これまでもこのような形で対応されていたと思うのですが、改めて表記していただいたおかげで、奨学金に対する状況がよく分かりました。ありがとうございました。

(伊藤教育長)

関連質問ございませんか。

〔質疑なし〕

それでは次に入ります。4ページ「学校給食関係」について、同じく武輪委員さんからお願いします。

(武輪委員)

4ページの「(2)食物アレルギー対応講習会」についてですが、8月27日に小・中学校の教職員の方を対象に開催されています。内容は、アレルギーに対する緊急時の対応、学校における食物アレルギー対応についてとあります。アレルギー対応食については、八戸市で取り組んでから数年経ちますが、講習会についての話も含めて、アレルギー食に対しての現状、そして講習会に参加していただいた先生方からでも結構ですが、学校側からのアレルギー対応食に対する要望等ありましたら、お聞きしたいと思います。

(中村学校教育課長)

武輪委員にお答え申し上げます。現在、アレルギー対応食は小学校12校、20食を提供しております。中学校への提供はございません。取り組んで3年目になりますけれども、初年度が13食、次年度が16食、

今年度が20食ということで、少しずつ適応食が増えている状況でございます。利用している学校や保護者からは、アレルギー対応が必要な子どもたちが、周りの子どもたちと一緒に給食を食べることができるのでありがたいという声が寄せられております。特に要望は寄せられておりません。

しかし、現状として、北地区給食センターと東地区給食センター管轄の学校においては、アレルギー対応食と周りの子どもたちのメニューが異なる状態となっております。これはアレルギー対応食の調理をする際は、専用調理室で通常の献立とは分離して作業する必要があるため、現在は西地区給食センターのみ対応していますので、市内すべてのアレルギー対応食は、西地区給食センターのメニューとなっているためでございます。このことにつきましては、保護者の同意のもとで実施しておりますので、要望としてはこちらの方には寄せられておりません。また、緊急時対応等については、毎年講習会や春の給食主任研修会でアレルギー対応食マニュアルを確認するとともに、各校で校内食物アレルギー委員会を設置し、体制を整えて対応していただいております。こちらについても、特に要望といったものは寄せられておりません。

なお、今回の講習会では、八戸広域消防本部の指令救急課の方を講師にお招きして、アレルギーに対する緊急時の対応について講話をいただき、先ほどお話ししましたアレルギー対応マニュアルについて確認をしたという内容となっております。

(武輪委員)

学校給食における食物アレルギー対応管理マニュアルの中に、基本的な考え方として「全ての児童生徒が給食時間を安全に、かつ、楽しく過ごせるようにする」とありますので、そのようなことを踏まえて、同じ教室で子どもたちが一緒に給食を食べ、楽しめるように対応していることに感謝を申し上げます。

もう一点ですが、やはりアレルギー対応食というのは一つ間違えると、重大なことが起きかねませんので、今一度、安全性の確保に努めていただきたいと思います。栄養教諭の先生、養護教諭、学級担任だけでなく、教職員全体、学校給食センター、そして教育委員会と医療機関、消防機関等が相互に連携して、組織的に対応することが指針の中にも明記されていますので、そこに関して今一度お願い申し上げたいと思います。もし、万が一の事故が発生したときの対応も常にとれるように、緊張感をもって対応いただければと思います。よろしく申し上げます。

(伊藤教育長)

ありがとうございました。大変大事なお話がありました。このような事故が絶対起きないということはありませんから、万が一を想定しながら、緊急時の対応も万全を期すことができるよう、今一度再点検する必要があるかと思っております。

ただいまの「学校給食」について関連質問ございませんか。

〔質疑なし〕

それでは次の項目に入ります。11 ページ「海洋研究開発機構研究成果活用促進事業」について、武輪委員さんからお願いいたします。

(武輪委員)

報告事項の中でも詳しくお話があるかと思いますが、具体的ではなく、全体としての感想を申し上げたいと思います。この事業の始まりとしては、平成 29 年に八戸市市制施行 88 周年記念の事業として、地球深部探査船「ちきゅう」が八戸港に入港し、一般公開がされました。そして、平成 29 年度から JAMS TEC の職員による子どもたちへの出前授業も行われてきました。今年は八戸市市制施行 90 周年を迎え、大きな記念事業があったわけですが、この事業の成果が出てきていると感じた出来事がありました。白鷗小学校の創立 50 周年記念式典の「呼びかけ」の中で、3 名のお子さんが自分の夢を語ってくれました。おそらく、一般公開等の機会に「しんかい 6500」や「よこすか」を見たのではないかと思います。その中の一人がみんなの前で、海洋研究に携わる仕事をしたいという夢を語ってくれました。このことを聞いたときに、とても素晴らしいなと感じました。また、社会教育課でやっている事業が身を結んでいるということですので、一般市民や子どもたちのために、これからも継続してやっていただきたいと思いました。

(伊藤教育長)

ありがとうございました。関連質問ございませんか。

[質疑なし]

それでは次に入ります。13 ページ「全国山・鉾・屋台保存連合会総会八戸大会開催」について、武輪委員さんからお願いいたします。

(武輪委員)

大きな大会がありましたけれども、どのような形で行われ、そして参加者の方々からどのような感想をいただいたのかをお聞きしたいと思います。

(館合社会教育課長)

「全国山・鉾・屋台保存連合会総会八戸大会開催」について、お答えいたします。本日お配りした資料をご覧ください。全国山・鉾・屋台保存連合会は 1979 年、昭和 54 年に組織された団体で、当市の八戸三社大祭山車祭り行事保存会は 2004 年、平成 16 年に加入しております。総会は年 1 回、正会員が所在する都市で持ち回りにより開催しております。例年 300 から 400 人の参加者があります。今年の八戸大会は 8 月 3 日（土）及び 4 日（日）の 2 日間、八戸パークホテルを主会場に開催されました。8 月 3 日は八戸三社大祭のお還りの日でしたので、375 名の参加者の皆様にお還り行列を自由に視察していただいたほか、事前にご希望のあった方々には、引き子としてお還り行事に参加していただいたり、八日町の有料観覧席から行列を鑑賞していただきました。

その後、夜 7 時から八戸パークホテルで交流会を開催いたしました。有料観覧席から交流会場までの移動手段も課題の一つでありましたが、教育長に先導していただき、参加者の方々からの様々な質問に対しましても、歩きながら説明をしていただきました。お話を伺った方々は教育長と知らずにお話を聞いておりましたので、最後に教育長と分かり、大変驚かれていたのが印象的でした。

交流会には来賓として、八戸市選出の 3 名の国会議員にもご出席いただき、427 名の方々にご参加いただきました。人数が多かったものですから、会場をパークホテルの 2 階と 3 階の二つに分け、同時中継で

つないで進行するという形をとりました。各テーブルには市長や教育長、各山車組の方々にも入っていただき、全国のお祭り関係者の方々との交流を図っていただきました。

大会2日目の8月4日（日）は会員参加による総会、そして、今年度より国交省補助事業に着手しております、おがみ神社立ち人形・衣装修理事業において修理作業をお願いしている、女子美術大学の大崎綾子先生による研修会を行い、正午にすべての日程を終了いたしました。

参加者の皆様の反応につきましては、アンケート等を実施しておりませんので、職員と参加者との話の中での内容となりますが、大きく展開する山車の美しさのほか、山車の引き子や芸能の演者に小学生などの子どもが多くいることに驚かれておりました。私たち八戸市の人間は、八戸三社大祭が日本一だと思っておりますが、今回の参加者は全国のお祭り関係者ということで、自分たちの祭りは日本一だと自負している方々ばかりです。その方々から、「自分たちの祭りの次に素晴らしい。」と、おそらく最大級の誉め言葉を数多くいただいております。

また、八戸大会につきましても、八戸三社大祭山車祭り行事保存会会長の小笠原大会実行委員長の心配りにより、八戸地域の特産品をふんだんに使ったオリジナル料理や行事保存会の会員でもある法霊神楽、左比代虎舞、そして南部手踊りと津軽三味線によるアトラクションなど、これまでにない趣向を凝らしたおもてなしにより大変満足されていたようでした。次回の開催地であります島根県長浜市の皆様からは「大きなプレッシャーとなりました。」という言葉もいただいております。

資料の2枚目に写真を掲載しておりますが、視察研修で引き子として参加された皆さんや有料観覧席で観覧している参加者の皆さん、交流会の開会式の様子、おがみ神社による法霊神楽のアトラクションの様子になります。また、2日目の総会、総会後の研修会の写真も掲載しております。

以上で、武輪委員への回答とさせていただきます。

（武輪委員）

私は8月1日のお通りは十三日町で、3日のお還りは六日町の交差点で拝見しました。お還りの時に、八戸大会に参加された多くの方々と遭遇したのですが、暑さのせいもあったと思うのですが、大変お疲れになっている様子でした。もちろん有料観覧席もあったのですが、どこでどう見ていいのか分からない様子でふらふらされながら、ちょっと山車を見てホテルに引き返そうとしていた感じの団体さんを見ましたので、ちょっと残念だなと思った場面もありました。

また、六日町で見ていて、一般の観光客の方だと思うのですが「なぜ、この通りでは大きく広げないのか。」「どうしてここでは大きな山車が見られないのだろう。」とつぶやいていた方がいましたので、道路の幅が狭いので広げられないことを説明して、八日町側の大通りでの観覧を勧めました。観覧者が大きな通りの方に増えてしまう可能性もあるのですが、説明とまではいかななくても、そのように思われる観光客に対して、何かしら対応ができないのかなと感じました。六日町側の細い道路では大きな山車を広げられないかもしれませんが、引き子や山車を見る距離がかなり近いので、そういう臨場感も感じられると思います。大きく広げた山車を見たい観光客の方が、山車の迫力ある場面を見ないで帰られてしまうと、次のリピーターになってくれませんので、そこに関しても何かあればなと感じましたので、今回、質問させていただきました。

(伊藤教育長)

ありがとうございました。これはかねがね問題になっているところかと思いますが、機会があったら、こういう意見があったことを保存会等に情報提供しておいた方がいいと思います。

その他、関連質問ございませんか。

(大庭委員)

私も武輪委員さんと同じような体験がありました。山車が大きく開くところは、メインの通りでは時々広げるので見られますけれども、裏の方に回るとなかなか見ることができません。遠方から来られた観光客の方は、そのことを分からない方が多いわけですね。本当は大きな見せ場になるのでしょうかけれども、それを見られない状態で帰ってしまう方もあるということで、個人的にも残念だなと思っていました。実際に県外から来られた方を案内したときに、最初からどこで開くのかを周知してくれば、そこで見るのですが、そこまでの情報を得られないで見に来たということをお話していました。せっかく見てきていただきますので、その辺の工夫もあればいいのかなと感じておりました。

(伊藤教育長)

ありがとうございました。その他、関連質問ございませんか。

(武輪委員)

もう一つあります。先ほどの白鷗小学校の「呼びかけ」の中で、もう一人の男の児童さんも夢を語っていたのですが、八戸市の職員になって、お祭りに関する仕事をしたいという夢を語ってくれました。ここも大変嬉しかった一場面です。

(伊藤教育長)

はい、ありがとうございました。あと関連質問ございませんか。

[質疑なし]

それでは次に入ります。19 ページ「図書館（本館・移動図書館）の利用状況」について、武輪委員さんからお願いいたします。

(武輪委員)

こちらの貸出冊数についてですが、過去3年間の同時期の貸出冊数を確認しましたところ、今回の7、8、9月の冊数が一番多いなと感じました。これは点検評価報告書にもありましたが、昨年、小・中学校に利用案内を配付したところ、7歳～15歳の利用者が前年度比733人増えて、貸出冊数も3,916冊増えたという報告が上がっております。

以前、教育委員会の視察研修で調布市立中央図書館を訪問したときに、八戸市立図書館の方も同行いたしました。調布市立中央図書館では、対象年齢を細かく区分し、本の内容や利用方法について冊子を作成し、子どもたちに配付していることを見させていただいたのですが、八戸市の図書館でも出来ることをす

ぐに取り入れて実行し、効果が出たのではないかなと思っています。

この貸出冊数が増えた要因、それに関しての手ごたえが図書館側であれば、お聞きしたいと思います。また、小・中学校のみならず、高校生や大学生向けのアプローチ等考えていましたら、お聞きしたいと思います。

(田茂図書館長)

お答えいたします。武輪委員のお話にもありましたように、視察をして、小・中学生に利用案内を配付いたしまして、利用者数や貸出冊数が増えたということで、対象別のアプローチが大変有効であると図書館でも感じております。大変良かったなと思っています。

今後の取組としては、「第3 四半期の主な事業予定」の15 ページにも記載しておりますが、学校が冬休みに入った12月22日、小学4年生から6年生を対象としました「体験！子ども図書館員」というイベントを予定しております。その際に、図書の整理や貸出などを体験していただき、図書館の実態に触れていただくことで、さらに図書館に親しみを持っていただけるのではないかと考えております。

また、高校生へのアプローチについては、現在はインターンシップの受入れを行っておりますが、小・中学生向けの利用案内の配付の手ごたえもございましたので、高校生向けの利用案内も作成いたしまして、全員分は厳しいですが、各校100部程度を配付し、図書室や配付資料置場に設置していただくなど、利用冊数及び利用者増に努めていきたいと考えています。

大学生へのアプローチについては、各大学の図書館が充実しているということもあります。数日前の新聞では、八戸大学と八戸工業大学の図書館における相互貸出しを始めて2年目になったとの記事が掲載されておりました。個別に大学生を対象とした方策は考えておりませんが、今後、大学に対しても何か方策を考えていければと思います。

(武輪委員)

今後も図書館が、子どもたちに本の楽しさを教えてくれる窓口になりますように期待しております。高校生や大学生に対しても、図書館に来ていただくだけでなく、スマホではなく本を手にとってもらう、本の良さを理解してもらうというアプローチも考えていただければと思います。

(伊藤教育長)

関連質問はございませんか。

[質疑なし]

それでは次に入ります。22 ページ「指定管理図書館（南郷図書館及び図書情報センター）関係」に関して、武輪委員さんお願いいたします。

(武輪委員)

指定管理図書館の行事等に記載されている「出張読み聞かせ」について質問いたします。第1 四半期報告の6月25日にも記載されておりましたが、南六会のグループホームさいうんに行って、出張読み聞かせを行っているということで、小・中学校の子どもたちだけでなく、幅広く市民の方たちに本を楽しん

でもらっているの、とてもいいことだなと思いました。ちなみに、どのような本を読んでいらっしゃるのか分かりますか。

(田茂図書館長)

どのような本かという部分については、申し訳ありませんが把握しておりません。読み聞かせについては、グループホームさいうんに対して施設配本を行っており、決まった冊数を1か月くらいずつお貸ししておりますので、伺った際に南郷図書館の職員が読み聞かせを行っているということでございます。皆さん楽しみにされており、ご好評をいただいているということは聞いてございました。

(伊藤教育長)

ありがとうございました。その他、関連質問ございませんか。

[質疑なし]

それでは、その他、委員の皆さんから質問などありますでしょうか。

(大庭委員)

武輪委員さんからの質問、意見等と重複しますが、二点ほど。一つは市の奨学金のことについてです。いつも質問したり、お願いということで話をしてきたのですが、一般の大学予約採用については、20人程度の募集者数に対し28人の採用、それから返還の義務のない第二種特別の大学予約採用では、5人程度の募集者数に対し10人の採用となっております。やはり高校生の中には、なかなか経済的に厳しい状況の子どもたちもいますので、いつも本当にありがたいなと思っております。私の記憶としては、この返還の義務のない奨学金の採用というのは、県で行っている返還の義務のない奨学金よりも早かったような気がしたのですが、今後も続けていただければと思います。

もう一つは、JAMS TECの関連事業の中で、こういう体験を通して、子どもたちが海に関わるものに関心を持ち、将来的には八戸市から科学者や研究者などの道に進む子どもたちが出てくれればいいなと感じております。こういう体験は八戸市だからこそできることですので、今後も大事にしていただければと思います。

(伊藤教育長)

その他、委員の皆さんからご質問などございますでしょうか。

[質疑なし]

【令和元年度第3四半期の主な事業予定について】

(伊藤教育長)

それでは次に入ります。「令和元年度第3四半期の主な事業予定について」委員の皆さんから何かご質問などございませんか。

(武輪委員)

4ページ、教育指導課の「地域密着型教育推進事業」でございますが、11月18日に青森県教育委員会生涯学習課と共催で、地域密着型教育コーディネーター研修会を開催するとあります。第2四半期業務報告でも、9月18日に県教育委員会との共催でコーディネーター研修会が行われたとの記載がありますが、県教育委員会との共催というのは、これまでも行われていたのでしょうか。それとも、今年度から県との共催という形でコーディネーター研修会を行うことになったのでしょうか。この共催のメリット、なぜ共催での開催になったのかを含めてお聞きしたいと思います。

(日向端教育指導課副参事)

具体的な内容の質問でしたので、私から回答いたします。県との共催は、今年度からの試みであり、年間で11月も含め、合計3回の開催となります。昨年度まではそれぞれで開催しておりましたが、実際のところ参加者も被りますので、一緒にやった方がお互いにメリットがあるだろうということになりました。県では講師を呼ぶ金銭面を負担していただいているので、私たちとしても非常にありがたく感じております。

八戸市内のコーディネーターは100名を超える程度おりまして、毎回50名ほどの参加をいただいています。県でやる場合は、三八教育事務所主催の場合も多いですので、数は少ないですが周辺の町村のコーディネーターの方々も一緒に参加していただいておりますので、八戸でやっていることを三戸郡の町村の方々とも情報共有できるというところで、お互いにメリットがあるなど私は感じております。また、県の担当の方からも、八戸からの参加者も増えて嬉しいというご意見をいただいておりますので、今後もできれば続けていきたいと考えているところです。

(武輪委員)

開催場所は、八戸市で行っているのですか。

(日向端教育指導課副参事)

八戸市です。

(武輪委員)

地域密着型教育推進事業は、コーディネーターがキーパーソンであると思っておりますので、研修会を大事にしていだければと思います。

(伊藤教育長)

ありがとうございます。その他ご質問はございませんか。

(油川委員)

私からは2ページ「学校給食グループ」に関連して、意見を申し上げたいと思います。会議の中で取り上げていただきたい案件があるのですが、10月1日に施行されました「食品ロスの削減の推進に関する法律」です。これまでも給食センターは何度か訪問させていただきまして、食品ロスに関しては、リ

デューズでしたり、リサイクルの面では大変ご努力なさっているのは理解しております、ただ、今回の「食品ロスの削減の推進に関する法律」ができましたので、今一度このことに関して見直していただくとともに、児童生徒の皆さんにも考える機会ということが大変重要ではないかなと思います。大人も子どもも炭酸ガスを増やさないということで、知恵を出し合っていくということが、美しい未来を創っていくという上では大変大切なことだと思いますので、ぜひ取り上げていただきたいと思います

(中村学校教育課長)

ご意見いただきましてありがとうございます。油川委員からお話がありましたように「食品ロスの削減の推進に関する法律」に基づいて行っている生ごみリサイクルにつきまして、しっかり考えていきたいと思っております、また、児童生徒につきましても、環境教育というところで活用できるように考えていきたいと思っております。

(伊藤教育長)

その他、ご質問ございませんか。

[質疑なし]

次に、「自動車破損事故報告及び損害賠償額の決定について」事務局からの説明をお願いします。

【自動車破損事故報告及び損害賠償額の決定について】

(橋本次長兼教育総務課長 資料に基づき説明)

(伊藤教育長)

ただいまの報告につきまして、ご意見・ご質問などがありましたらお願いします。

(油川委員)

車はもちろんのこと、児童生徒などの安全確認も含めまして、20m以内には人も物もないことを確認されることも必要かと思えます。飛ぶ石は時速90kmの速さのようですので、何かありますと大変な被害になるかと思えます。一生懸命きれいにしてくださっているというのは分かるのですが、安全第一ということで、今一度、それぞれの皆様が注意を払って作業いただければと思いますので、よろしく願いいたします。

(伊藤教育長)

ありがとうございます。その他ご質問などありましたらお願いいたします

(武輪委員)

今、油川委員からもお話がありましたが、子どもたちだけではなく、作業してくださっている方々もゴーグル等あると思いますので、怪我をしないように十分注意をはらっていただければと思います。

(伊藤教育長)

ありがとうございます。その他ご質問ございますか。

〔質疑なし〕

次に「令和2年度学校閉庁日の設定について」事務局からの説明をお願いします。

【令和2年度学校閉庁日の設定について】

(中村学校教育課長 資料に基づき説明)

(伊藤教育長)

ただいまの報告につきまして、ご意見・ご質問などがありましたらお願いします。

(築瀬委員)

教職員の健康の保持増進は一つの課題であり、その大きな進展につながることから、一言感想を述べたいと思います。資料の「ねらい」にも書かれていますが、教職員の健康の保持増進という観点から3日間にするは大賛成です。体を休めることと同じくらい、心の面での休養というものも大切なのですが、なかなか授業や様々な活動があるときは休日を取れないので、こういうときにリフレッシュし、心労の軽減を図ることは非常に大事なエネルギーにもつながります。そして、それが子どもにも跳ね返ってくるので、非常に大事だなと思います。授業のある日はなかなか休みが取れないというのが現実ですので、授業のない日にできるだけ休みを取ってほしいと思っています。

学校閉庁日の設定は、制度として行っているわけですが、普段はどうしても授業がありますので、学校では長期休業期間中に研修や会議というものを詰め込む傾向が強いわけです。しかし、それも限度があると思います。この学校閉庁日は、お盆期間だからいいのですが、その他の期間においても、休みたいときに休めるような視点での改革も必要だなと思っています。その点も配慮しているのはよく分かっているのですが、そういう点も考えるべきだなと思います。

私が現役の教員時代は、サークルといいますか、自分の好きな、あるいは追求したい内容の自主研修が、出張、研修として認められていた時代がありました。決められた基本研修や一般研修と同じくらい効果があるということ、何が教育的に価値があるものなのか、教員が質を高め、子どもたちに還元することができるのかを考える必要があると思います。これも先ほど言ったのですが、国の流れとか、そういったことだけに惑わされないようにして、八戸市独自のものができるとは思えず、独自のことをやってきた経緯もあるわけです。まとめますと、上から目線の施策だけではない、もっと学校現場の声や教職員が何を望んでいるのか、そういったことを汲み取りながら、このような取組を推進してほしいなと思っています。

(伊藤教育長)

ありがとうございます。その他ご質問などありましたらお願いします。

〔質疑なし〕

次に「令和元年度八戸市職員海外派遣交流事業について」事務局からの説明をお願いします。

【令和元年度八戸市職員海外派遣交流事業について】

(西山教育指導課長 資料に基づき説明)

(伊藤教育長)

ただいまの報告につきまして、ご意見・ご質問などがありましたらお願いします。

〔質疑なし〕

次に「「しんかい6500」「よこすか」八戸港寄港関連事業の開催報告について」、「第3回山伏神楽 U-30の開催報告について」及び「令和2年八戸市成人式について」は、どちらも社会教育課からの報告案件になりますので、合わせて事務局からの説明をお願いします。

【「しんかい6500」「よこすか」八戸港寄港関連事業の開催報告について】

【「第3回山伏神楽U-30」について】

【令和2年八戸市成人式について】

(館合社会教育課長 資料に基づき説明)

(伊藤教育長)

ただいまの報告につきまして、ご意見・ご質問などがありましたらお願いします。

(武輪委員)

「山伏神楽U-30」について、感想を述べさせていただきます。お天気に恵まれて、たくさんの方に見ていただいて本当に良かったなと思います。資料に記載がありますけれども、「従来団体間の交流が乏しかったが、3年が経ち、若者たちは自然に交流するようになったとともに、後継者の意識が強くなったようである。」ということがありますが、とても良かったと思います。これからも伝承活動の活性化、各団体の運営の手助け、アドバイス、そして若手育成に対して継続してほしいと思います。

(伊藤教育長)

はい、ありがとうございます。その他ご質問などございませんか。

〔質疑なし〕

次に、「八戸藩遠山家日記 第八巻の刊行について」及び「第9回八戸市図書館を使った調べる学習コンクール 受賞作品決定について」は、どちらも図書館からの報告案件になりますので、合わせて事務局からの説明をお願いします

【八戸藩遠山家日記 第八巻の刊行について】

【第9回八戸市図書館を使った調べる学習コンクール 受賞作品決定について】

(田茂図書館長 資料に基づき説明)

(伊藤教育長)

ただいまの報告につきまして、ご意見・ご質問などがありましたらお願いします。

[質疑なし]

その他、事務局からの報告事項はありますか。

[なし]

事務局からは以上のようなようです。

最後に、その他ですが、委員の皆様方からなにかありますでしょうか。

[なし]

閉 会

(伊藤教育長)

これをもちまして令和元年10月の教育委員会を終了いたします。お疲れ様でした。

(午後 4 時34分閉会)